審 査 員 特 別 賞

「　大学一年生の私が今思うこと　」

経営学科　１年　田辺　美優紀

今年の大学一年生は、皆少なからず寂しいという気持ちを抱えているのではないか。
コロナ禍になってから、嫌いな人に会わなくて済むようになった。
しかし、好きな人にも会えなくなった。
十二月五日に、大学がオンライン授業に変更すると知った。。
そのとき、最初に思い浮かんだのは友達のことだった。
授業で会う口実がなくなったら、この関係は自然消滅してしまうのでないかと思ったからだ。
会いたかったら口実がなくても、会いに行けばいいと少し前なら考えていた。
しかし、今は違う。
もし、好きな人が新型コロナウイルスに感染して死んでしまったら、私はどう思うのだろう。
死んでしまう前に、もう一度会っておけばよかったと思うのだろうか。
しかし、私が感染してしまって、家族にまで二次感染させてしまっていたかもしれない。
ならば、会わない方がよかったと思うのだろうか。
会っても会わなくてもどちらを選んでも、きっと後悔する。
そして、この世の中には不条理な話がある。
私は大学にすら行けないのに、旅行に行ける人がいるのだ。
私はそのことにとても怒りを感じる。
しかし、間違っていると断言することはできない。
なぜなら、数学のように答えがないからである。
何が正しいのか、何が間違っているのか、答えを見つけていかなければならない。

数十年後には「大変だったよね」の一言で済まされてしまうのだろうか。
こんな言葉ですら、誰にも言わなければ独り言で終わってしまうのだ。
しかし、私は過去にこんなことを言われたことがある。
「何も言わないのは、何も考えていないことと同じなんだよ」
なかったことにされないために、私たちは叫び続けないといけないのだ。
この悲鳴が届いてくれ。